

川崎市周辺帰宅困難者対策ワークショップ開催要領

平成24年11月12日

総務局危機管理室

1 ワークショップの目的

大災害発生時に想定される、川崎駅周辺の多くの帰宅困難者への対応を、与えられた状況に応じて協議を行い、各団体の連携や対応の共有および課題の抽出を行うことで、上記の対応における行動ルールの策定に資すること。

2 開催時間

平成25年1月21日（月） 14:00～17:00

3 開催場所

川崎商工会議所 2階 第5・6会議室

4 ワークショップの概要（別紙概要図を参照）

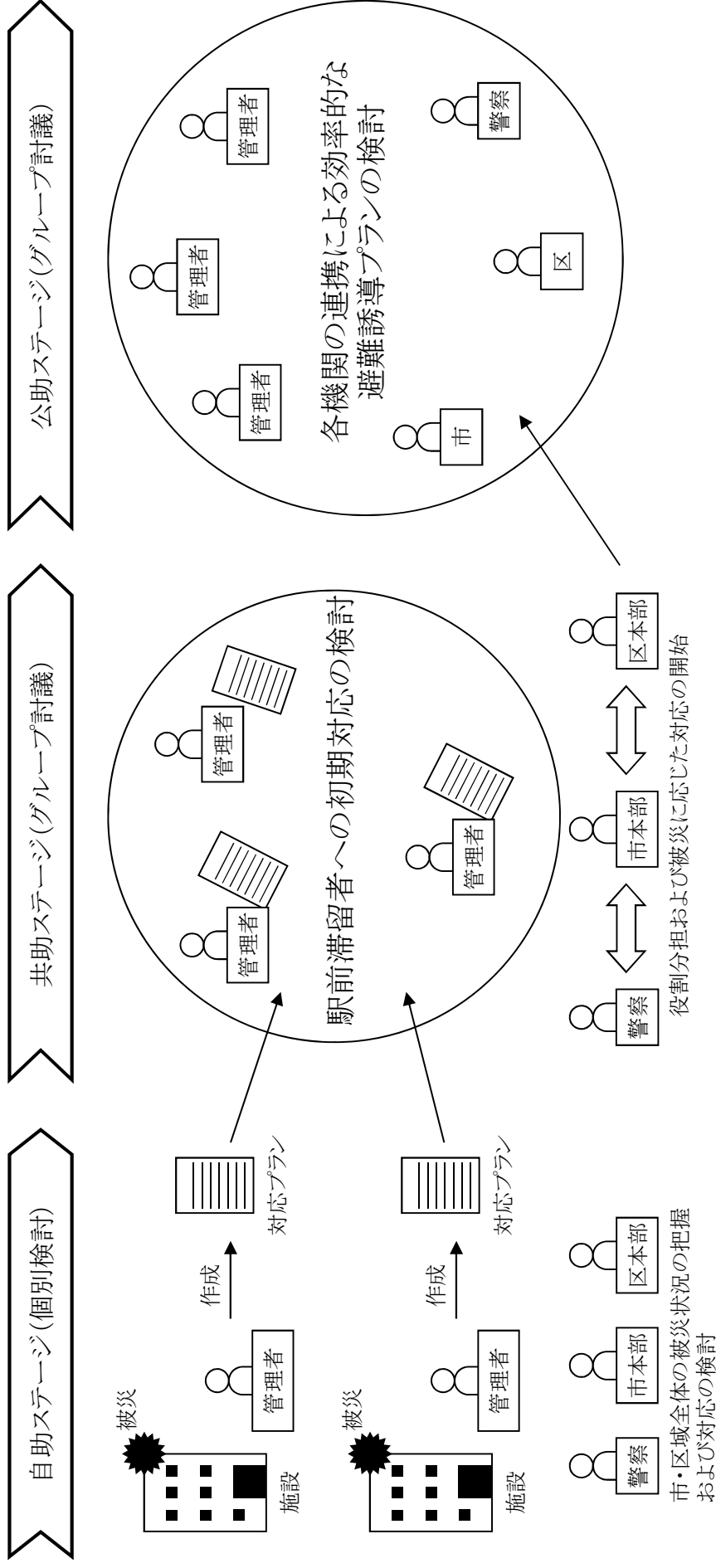
災害の発生直後に対応を迫られる各施設の安全対策の円滑な遂行、時間の経過に従い増加する川崎駅前滞留者への対応、これら駅前滞留者の適切な避難誘導の実施等、経過時間に伴い顕在化する課題をグループ協議により検討し、民間施設・警察・行政等関係機関の共通認識を得る。また、協議の進行に応じて適宜評価者による検証や振り返りを行う。

※詳細は後日通知いたします。

5 参加者

川崎駅周辺帰宅困難者等対策協議会構成団体に所属する方

各ステージにおいて施設管理者・利用者等の様々な立場で、どのような対応を行うか、意見を出し合って課題を検証



自助ステージに与えられた状況

- 各施設に避難者が発生
- 各施設内での被災による怪我人の発生

自助ステージでの検討事項

- 各施設の安全確認および避難者の保護
- 安全確認をチェックするツールの検証

共助ステージに与えられた状況

- 被災状況の進展
- 駅前滞留者の増加

共助ステージでの検討事項

- 各施設の対応を共有し、滞留者対策の検討
- 現地本部(情報受発信拠点)の立ち上げ

公助ステージに与えられた状況

- 駅周辺の滞留者の増加
- 警察・行政等の対応の整備

公助ステージでの検討事項

- 駅前滞留者への効果的な情報発信および誘導
- 区本部による各機関を含めた連絡調整